

令和 4 年 6 月 15 日現在

機関番号：32663

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2017～2021

課題番号：17H00904

研究課題名(和文) 海外の研究者との連携による中国・日本における禅思想の形成と受容に関する研究

研究課題名(英文) Research on the Formation and Reception of Zen Thought in China and Japan in Collaboration with Researchers Abroad

研究代表者

伊吹 敦 (IBUKI, Atsushi)

東洋大学・文学部・教授

研究者番号：20250029

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 28,600,000円

研究成果の概要(和文)： 海外研究者を招いての研究集会の開催や世界の最新研究の紹介、研究プロジェクト構成員の論文発表がそのまま本プロジェクトの成果である。

・研究集会：a. シンポジウムの開催：11回(発表を行った海外の研究者：28名)、b. 内外の研究者を招いての講演会・研究発表会：8回、c. 定例研究会でのプロジェクト構成員の発表：20回。

・雑誌の刊行：『国際禅研究』9号(掲載論文総数：76篇)、海外の研究者の論文数：25篇(英語論文：6篇、中国語論文：10篇、韓国語論文：3篇、英語論文の日本語訳：4篇、中国語論文の日本語訳：12篇、韓国語論文の日本語訳：5篇)、日本語論文の英訳：2篇、日本語論文の中国語訳：1篇

研究成果の学術的意義や社会的意義

これまで世界の禅研究をリードしてきた日本の研究が下降線を辿っているという認識のもと、海外の研究を知り、その刺激を受けることで今後の禅研究を再活性化させることを目指したが、シンポジウム等の開催、『国際禅研究』の刊行によって一定の役割を果たすことができた。特に「禅研究の現在」をテーマとする『国際禅研究』第8号の刊行は日本を代表する禅研究者による専門分野についての書き下ろしの禅研究ガイドブックとなっており、禅研究に志す若手研究者の必携アイテムとなっている。

このような取り組みは、期間を限らず、継続的に行われる必要があるが、本研究プロジェクトの五年間の活動は、その有効性を十分に証明したと言える。

研究成果の概要(英文)： This project's results was achieved by inviting overseas researchers to research meetings, introducing the latest research from around the world, and presenting papers by the project members.

I. Research Meetings(A. Symposiums: 11 times. Overseas researchers who made presentations: 28 persons. B. Lectures and research presentations by invited overseas researchers: 8 times. C. Presentations by project members at regular research meetings: 20 times)

II. Publication of journals(International Zen Studies): 9 issues (total number of papers: 76, papers by overseas researchers: 25 (English papers: 6, Chinese papers: 10. Korean papers:3. Japanese translations of English papers: 4. Japanese translation of Chinese papers:12. Japanese translation of Korean papers:5)), English translations of Japanese papers:2. Chinese translation of Japanese papers:1.

研究分野：中国仏教史・禅思想史

キーワード：禅宗史 禅文献 禅思想 禅文化 国際交流

1. 研究開始当初の背景

宇井伯寿、鈴木大拙、関口真大、柳田聖山等の輩出によって日本の禅研究は世界をリードしてきたが、近年は日本の研究が下降線を辿っており、研究を主導するような有力な学者が現れにくくなっていた。その原因を考えてみると、駒澤大学や花園大学などの宗門大学に多くの禅研究者が在籍しているが、相互の交流が少なく、また、大学内だけで研究を行っており、外部的刺激に欠け、研究を活性化させる取り組みが行われていなかった。

一方で、海外に目をやると、鈴木大拙の著作の影響等もあって、世界各地に個性的な研究者が点在しているが、相互に交流が少なく、また、日本の研究者とのパイプにも欠け、研究の高度化の機会を得られずにいた。こうした国内外の禅研究の状況が、本プロジェクトを思い立った背景にあった。

2. 研究の目的

上記のような研究状況の中、世界の禅研究の情報ネットワークの結節点となるような禅研究センターを設置し、世界の最新の禅研究の動向を集約し、また、その研究成果を世界に発信することで、日本の禅研究の伝統を再興することを目指した。その場合、駒澤大学や花園大学とは異なり、東洋大学が特定の宗派に属さないにも拘わらず、その設立の当初から仏教思想の研究を重んじてきた大学であることが非常に重要な意味を持つと考え、東洋大学の東洋学研究所内に研究プロジェクトを設置した。

3. 研究の方法

先ず、研究代表者・分担者による研究組織の整備を行った。即ち、

		研究分野	研究担当者
研究代表者 伊吹敦	第Ⅰ部会 (中国)	初期禅宗文献のテキスト研究	程正 (駒澤大学仏教学部教授)
			伊吹敦 (東洋大学文学部教授)
		唐から宋に至る禅思想史の解明	齋藤智寛 (東北大学文学研究科教授)
			柳幹康 (東京大学東洋文化研究所准教授)
			伊吹敦
		禅問答・公案の研究	土屋太祐 (新潟大学人文社会教育科学系准教授)
	ディディエ・ダヴァン (国文学研究資料館研究部准教授)		
	第Ⅱ部会 (日本)	奈良・平安時代における禅受容過程の解明	伊吹敦
		鎌倉時代における禅の受容過程の解明	何燕生 (郡山女子大学短期大学部教授)
			舘隆志 (駒澤大学仏教学部講師)
		禅文化の研究	原田香織 (東洋大学文学部教授)
村松哲文 (駒澤大学仏教学部教授)			
日本禅の海外への伝播過程の解明	伊吹敦		

という組織を立ち上げ、「国際禅研究プロジェクト」と名づけた。そして、定例研究会を開催して、プロジェクトの構成員に研究発表を行ってもらい、相互に理解を深めるとともに、それぞれの人脈を辿って海外の研究者についての情報を集め、その情報に基づいて、海外の研究者と連絡を取り、その専門に対応する研究者を糾合する形でシンポジウムを企画・開催した。研究者の時間的都合や研究分野を統一できない場合等は、個別に講演会や研究発表会を開催した。そして、その発表内容を可能な限り『国際禅研究』に掲載し、東洋大学学術情報リポジトリを通して公開することで、関心のある全ての人にアクセスできるようにした。

このような方法によって、海外の研究者の最新の研究成果を専門の研究者だけでなく、一般の知識人にも知らせることで、国内外の禅研究の活性化を目指した。

4. 研究成果

本研究プロジェクトの成果としては、まずは国内外の研究者との交流の実績を示す研究集会の開催を挙げなければならない。その概要は、以下の通りである。

a. シンポジウム

1. 「第6回 日・韓・中 国際仏教学術大会—東アジアにおける禅仏教の思想と意義」（東洋大学東洋学研究所・金剛大学校（韓国）仏教文化研究所・中国人民大学仏教与宗教学理論研究所と共催、2017年7月1日（土）・7月2日（日）、東洋大学白山キャンパス 6211 教室）：張文良、徐文明、崔恩英、朴健柱、崔鋈植等の海外の研究者が参加。
2. 「東アジアにおける禅思想の諸相」（2017年12月16日（土）、東洋大学白山キャンパス 6218 教室）：呉孟謙、商海鋒等の海外の研究者が参加。
3. 「禅の形成と世界における展開（禅的形成及其在世界的展开, “Chan & Zen & Seon : The Formation of Chan Buddhism and Its Spread in the World”）」武漢大学国際禅文化研究中心等と共催、2018年5月4日（金）～5月6日（日）、武漢大学国際禅文化研究中心）：中国語圏の多くの研究者とベルナル・フォル、ゲオレン・コプフら欧米の研究者が参加。
4. 「フランスの研究者による禅研究」（2018年6月16日（土）、東洋大学白山キャンパス 6201 教室）：フレデリック・ジラル、張超等の海外の研究者が参加。
5. 「世界の道元研究の現在」（2018年7月21日（土）・7月22日（日）、東洋大学白山キャンパス 125 記念ホール）：ゲレオン・コプフ、フレデリック・ジラル、ラジ・シュタイネット、柳済東、ウィリアム・ボディフォード等の海外の研究者が参加。
6. 「初期禅宗史研究の最前線」（2019年5月25日（土）・5月26日（日）、東洋大学白山キャンパス 6317 教室）：ベルナル・フォル、黄青萍、龔雋、林佩瑩、ウェンディ・アダメック等の海外の研究者が参加。
7. 「初期禅宗史研究会」（2019年12月7日（土）、東洋大学白山キャンパス 第3 会議室）：韓伝強等の海外の研究者が参加。
8. 「鈴木大拙の思想とその史的意義」（2020年2月16日（日）、東洋大学白山キャンパス 125 記念ホール）
9. 「禅文化の諸相とその特質」（2021年10月9日（土）、オンライン開催（Webex 利用））：フ

ランソワ・ラショウ等の海外の研究者が参加。

10. 「近代化は仏教をどう変えたのか」(東洋学研究所プロジェクトとの共催、2021年10月30日(土)・31日(日)、オンライン開催(Webex利用))：侯坤宏等の海外の研究者が参加。
11. 「中国・韓国・日本 看話禅の諸相」(2021年11月27日(土)、オンライン開催(Webex利用)、コーディネーター・司会：土屋太祐)：金龍泰、朴仁錫、張超等の海外の研究者が参加。

b. 海外の研究者(一部、国内在住の研究者を含む)による公開講演会・研究発表会

1. ラジ・シュタイネック先生(チューリヒ大学)講演会「道元と時間論」(2017年10月21日(土)、東洋大学白山キャンパス 6211教室)
2. ステファン・グレイス先生(大正大学)講演会「鈴木大拙の現代仏教に対する批判」(2017年10月21日(土)、東洋大学白山キャンパス 6211教室)
3. 黄青萍先生(銘伝大学)講演会「敦煌文献中の北宗禅及其研究價值」(2018年1月27日(土)、東洋大学白山キャンパス 第3会議室)
4. 定源先生(上海師範大学敦煌学研究所)講演会：「新出の北宗禅籍『金沙論』について」(2018年9月22日(土)、東洋大学白山キャンパス 第3会議室)
5. 陳金華先生(ブリティッシュコロンビア大学)講演会「從“武周帝國”(655-705)到“安史之亂”(755-763)：禅宗的歴史性轉向與現代化契機」(2020年12月12日(土)、オンライン開催(Webex利用))
6. ジャン=ノエル・ロベール先生(コレージュ・ド・フランス)・角田泰隆先生(駒澤大学)・何燕生先生「三者鼎談：『正法眼蔵』の表現・翻訳・思想をめぐって」(2021年9月18日(土)、オンライン開催(Webex利用)、司会：ディディエ・ダヴァン)
7. マルタ・サンヴィド先生(カリフォルニア大学バークレー校)講演会「近世曹洞禅宗における伝説の秘伝化—「片岡山飢人説話」を中心に」(2021年12月18日(土)、オンライン開催(Webex利用))
8. 蔣海怒(浙江理工大学)先生講演会「唐代禅林茶飲里宗趣的變化」(2022年2月12日(土)、オンライン開催(Webex利用))

これらの研究集会で明らかにされた海外の研究者による最新の研究成果は、以下に示す、本研究プロジェクト刊行の雑誌、『国際禅研究』の各号に掲載され、また、東洋大学学術情報リポジトリを通して広く世界に公開されている。

創刊号(2018年2月22日刊行)

第2号(「Chan・Zen・Seon：禅的形成及其在世界的展開」特集I、2018年10月30日刊行)

第3号(「Chan・Zen・Seon：禅的形成及其在世界的展開」特集II、2019年7月3日刊行)

第4号(「世界の道元研究の現在」特集、2019年12月24日刊行)

第5号(「初期禅宗史研究の最前線」特集、2020年8月31日刊行)

第6号(「初期禅宗研討会」「鈴木大拙の思想とその史的意義」特集、2020年11月30日刊行)

第7号(2021年8月30日刊行)

第8号(「禅研究の現在」特集、2022年1月30日刊行)

第9号(「中国・韓国・日本 看話禅の諸相」「禅文化の諸相とその特質」特集、2022年2月25日刊行)

本研究プロジェクトでは、研究集会で行われた海外の研究者の研究成果の刺激を受けつつ、各自研究を進め、その成果を定例研究会で公表し、また、その内容について討議を行った。結果として、第Ⅰ部会（中国関係）、第Ⅱ部会（日本関係）とも、五年間でそれぞれ 10 回に及ぶ定例研究会を開くことになったが、その成果の多くも『国際禅研究』に掲載されている。

これらの研究成果は、社会全体で共有すべきものであるが、研究集会の開催が研究プロジェクトの成員に与えた刺激について研究代表者を例に説明するのであれば、2019 年 5 月に開催した「初期禅宗史研究の最前線」において、ベルナル・フォール、ウェンディ・アダメック、龔雋等の海外の初期禅宗史研究の第一人者と交流を持ったことが刺激となって、定例研究会での、

- a. 伊吹 敦：「『六祖壇經』の成立に関する新見解—敦煌本『壇經』に見る三階教の影響とその意味」（第Ⅰ部会、2020 年 12 月 12 日（土）、オンライン開催（Webex 利用））
- b. 伊吹 敦：「李舟撰『能大師傳』の内容とその歴史的意義」（第Ⅰ部会、2021 年 5 月 29 日（土）、オンライン開催（Webex 利用））
- c. 伊吹 敦：「『内證佛法相承血脈譜』の編輯過程について—初期禅宗文献が最澄に与えた影響」（第Ⅱ部会、2021 年 12 月 18 日（土）、オンライン開催（Webex 利用））

等の研究発表となった。これらのうち、a は、これまで『六祖壇經』の成立に関してほとんど定説となっていた段階的成立説そのものを根底から突き崩すものであり、また、b は、従来、ほとんど注目されていなかった李舟の『能大師傳』という著作の歴史的意義を初めて明らかにしたもので、c は最澄に与えた初期禅宗の影響が従来考えられていた以上に大きかったことを明らかにしたものであって、いずれも今後の禅宗史研究、日本天台宗研究に新たな光を投ずるものである。

このように海外の研究者との交流は、研究プロジェクトの各成員に大きな刺激を与え、研究内容の向上に寄与したわけであるが、この研究プロジェクトを大局的に見る時、五年間という長期に亘って継続的に海外の研究者を招聘し、その研究を日本に紹介し続けるといった試みはこれまでに全くなされたことがないものであった。もちろん、今後、禅研究の国際化は更に進み、このようなプロジェクトの必要性そのものがなくなるであろうが、少なくともその魁の役割は十分に果たすことができたと考えている。ただ一つ心残りなのは、日本の研究を海外に発信するという点では不十分であったということである。これは現在の日本の禅研究の大きな問題であり、今後、解決されなければ、日本は世界の研究から取り残されることになるであろう。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計77件（うち査読付論文 12件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 38件）

1. 著者名 伊吹敦	4. 巻 3
2. 論文標題 佛教は哲學なりや宗教なりや 近代日本における佛教の宗教化と禪宗・眞宗の一元的理解の誕生	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国際禅研究	6. 最初と最後の頁 195-234
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 伊吹敦	4. 巻 68-1
2. 論文標題 神會による「如來禪」の創唱と宗密の改變	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 印度学仏教学研究	6. 最初と最後の頁 290-297
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 伊吹敦	4. 巻 57
2. 論文標題 佛教は哲學なりや宗教なりや（中國篇・上） 梁啓超・章炳麟の佛教理解と淨土教・禪宗の位置づけ	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東洋学研究	6. 最初と最後の頁 234-209
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 伊吹敦	4. 巻 7
2. 論文標題 『師資血脈傳』の成立と變化、並びに他の神會の著作との関係について	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東洋思想文化	6. 最初と最後の頁 88-116
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 何燕生	4. 巻 403
2. 論文標題 瘋癲・破格・禪:尋夢『臨濟録』的柳田聖山	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 文匯学人	6. 最初と最後の頁 1-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 何燕生	4. 巻 8
2. 論文標題 道元対心常相滅論的批判	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 中国禅学	6. 最初と最後の頁 336-348
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 土屋太祐	4. 巻 1
2. 論文標題 Gongan Chan (公案禅) of Yuan-wu-chin (圓悟克勤)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Institute for the Study of the Jogye order Journal	6. 最初と最後の頁 15-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 土屋太祐	4. 巻 58
2. 論文標題 行脚時代の雪峰義存と会昌破仏前後の禅林	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 仏教文化	6. 最初と最後の頁 130-155
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 土屋太祐	4. 巻 176
2. 論文標題 『一夜碧巖』第四則訳注	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東洋文化研究所紀要	6. 最初と最後の頁 35-93
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 柳幹康	4. 巻 68-1
2. 論文標題 白隠慧鶴と菩提心の判	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 印度学仏教学研究	6. 最初と最後の頁 314-307
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 村松哲文	4. 巻 22
2. 論文標題 日本における達磨図の展開ー白隠と風外慧薫に共通することー	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 駒沢大学仏教文学研究	6. 最初と最後の頁 145-162
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 程正	4. 巻 50
2. 論文標題 「惟心観一巻」(S212)の基礎的研究(1)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 駒澤大学仏教学部論集	6. 最初と最後の頁 99-114
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 程正	4. 巻 31
2. 論文標題 「惟心觀一卷」(S212)の基礎的研究(2)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 駒澤大学禅研究所年報	6. 最初と最後の頁 35-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 程正	4. 巻 78
2. 論文標題 「惟心觀一卷」(S212)の基礎的研究(3)(資料篇)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 駒澤大学仏教学部研究紀要	6. 最初と最後の頁 43-55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 館隆志	4. 巻 252
2. 論文標題 誠拙周檣の鎌倉における禅の復興	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 禅文化	6. 最初と最後の頁 40-48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 館隆志	4. 巻 17
2. 論文標題 称名寺所蔵(金沢文庫管理)『心根決疑章』翻刻 達磨宗新出史料の紹介	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東アジア仏教研究	6. 最初と最後の頁 162-134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 館隆志	4. 巻 4
2. 論文標題 『元亨釈書』の栄西伝について	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国際禅研究	6. 最初と最後の頁 442-389
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 館隆志	4. 巻 15
2. 論文標題 鎌倉期禅僧の喫茶史料集成ならびに訓註 (下二)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 花園大学国際禅学研究所論叢	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 館隆志	4. 巻 68-2
2. 論文標題 新出史料『心根決疑章』の発見とその意義 達磨宗二祖仏地房覚晏の著述をめぐって	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 印度学仏教学研究	6. 最初と最後の頁 611-618
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 原田香織	4. 巻 3
2. 論文標題 白隠禅師と能楽	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国際禅研究	6. 最初と最後の頁 95-115
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 ディディエ・ダヴァン	4. 巻 3
2. 論文標題 The koan in Japanese Society at the Beginning of the Early Modern Period: Kana hogo and kannazen	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Studies in Japanese Literature and Culture	6. 最初と最後の頁 67-84
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊吹敦	4. 巻 248
2. 論文標題 仏教界の覚醒と禅 (下之上) : 要説・中国禅思想史53	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 禅文化	6. 最初と最後の頁 102-112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊吹敦	4. 巻 249
2. 論文標題 仏教界の覚醒と禅 (下之下) : 要説・中国禅思想史54	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 禅文化	6. 最初と最後の頁 130-141
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊吹敦	4. 巻 49
2. 論文標題 胡適の禅研究の史的意義とその限界	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 駒澤大学仏教学部論集	6. 最初と最後の頁 102-112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊吹敦	4. 巻 2
2. 論文標題 人間佛教における禪評價の問題	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国際禅研究	6. 最初と最後の頁 31-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊吹敦	4. 巻 6
2. 論文標題 近代における傳統佛教評價の問題：日本・中國における大乘非佛説論・『起信論』中國撰述説への對應を中心に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東洋思想文化	6. 最初と最後の頁 109-142
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 何燕生	4. 巻 169
2. 論文標題 佛教是一個“想像的共同体”馬？：太虚佛教革新運動与日本	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 世界宗教研究	6. 最初と最後の頁 73-86
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 齋藤智寛	4. 巻 15
2. 論文標題 五代宋初佛教史書閲読札記：以雅俗概念為中心	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 中国俗文化研究	6. 最初と最後の頁 26-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 齋藤智寛、鄭愚	4. 巻 120
2. 論文標題 「大イ山大円禅師碑銘」考：土大夫と晩唐禅仏教	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 集刊東洋学	6. 最初と最後の頁 78-92
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柳幹康	4. 巻 67-1
2. 論文標題 白隠慧鶴と『宗鏡録』	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 印度学仏教学研究	6. 最初と最後の頁 292-286
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 柳幹康	4. 巻 14
2. 論文標題 『無門関』三本の比較分析：附「ダ子」「馳子」考	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 花園大学国際禅学研究所論叢	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 土屋太祐	4. 巻 67-2
2. 論文標題 血脈不断・相続也大難：宋代禅宗における公案解釈の一視点	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 印度学仏教学研究	6. 最初と最後の頁 777-783
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 土屋太祐	4. 巻 19
2. 論文標題 玄沙師備の仏性観	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 比較宗教思想研究	6. 最初と最後の頁 1-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村松哲文	4. 巻 13
2. 論文標題 中国涅槃像の諸相	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 梨のしおり	6. 最初と最後の頁 28-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 程正	4. 巻 49
2. 論文標題 英蔵敦煌文献から発見された禅籍について：S6980以降を中心に	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 駒澤大学仏教学部論集	6. 最初と最後の頁 73-87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 程正	4. 巻 30
2. 論文標題 ドイツ蔵吐魯番(トルファン)漢文文書から発見された禅籍について(1)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 駒澤大学禅研究所年報	6. 最初と最後の頁 61-76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 程正	4. 巻 7
2. 論文標題 新出の『天竺国菩提達摩禪師論』の諸本について	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東アジア仏教学術論集：日・韓・中国際仏教学術大会論文集	6. 最初と最後の頁 127-154
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 程正	4. 巻 77
2. 論文標題 ドイツ蔵吐魯番(トルファン)漢文文書から発見された禅籍について(2)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 駒澤大学仏教学部研究紀要	6. 最初と最後の頁 11-25
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 程正	4. 巻 5
2. 論文標題 敦煌禅宗文献《七祖法宝記》成書年代考	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『仏教文献研究』（南京大学）	6. 最初と最後の頁 99-116
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 永井政之、程正、大澤邦由、角田隆真、五十嵐嗣郎、徳護、長谷川淳一	4. 巻 49
2. 論文標題 『宋会要』道釈部訓注（十三）	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 駒澤大学仏教学部論集	6. 最初と最後の頁 49-87
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 村松哲文	4. 巻 22
2. 論文標題 日本における達磨図の展開：白隠と風外慧薫に共通すること	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 仏教文学研究	6. 最初と最後の頁 145-162
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 館隆志	4. 巻 19
2. 論文標題 曹洞宗における端午の受容	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 曹洞宗総合研究センター学術大会紀要	6. 最初と最後の頁 145-150
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 館隆志	4. 巻 67-1
2. 論文標題 中世禅林における重陽の喫茶文化：茱萸茶・菊花茶をめぐる	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 印度学仏教学研究	6. 最初と最後の頁 46-51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 館隆志	4. 巻 14
2. 論文標題 鎌倉期禅僧の喫茶史料集成ならびに訓註(下)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 花園大学国際禅学研究所論叢	6. 最初と最後の頁 15-134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 原田香織	4. 巻 93
2. 論文標題 作品研究『朝長』：切腹様式と観音懺法のもつ演劇性	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 文学論藻	6. 最初と最後の頁 45-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 原田香織	4. 巻 56
2. 論文標題 狂言『花子』における坐禅という仕掛け	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東洋学研究	6. 最初と最後の頁 93-107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 ダヴァン・ディディエ	4. 巻 5
2. 論文標題 海を渡った禅：欧米「ZEN」の誕生	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 別冊サンガ	6. 最初と最後の頁 100-132
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 ダヴァン・ディディエ	4. 巻 2
2. 論文標題 Between the Mountain and the City: Ikkyu Sojun and the Blurred Border of Awakening	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Studies in Japanese Literature and Culture	6. 最初と最後の頁 45-60
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊吹敦	4. 巻 244
2. 論文標題 禪の終焉(下)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 禅文化	6. 最初と最後の頁 107-117
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊吹敦	4. 巻 245
2. 論文標題 仏教界の覚醒と禅(上)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 禅文化	6. 最初と最後の頁 49-56
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊吹敦	4. 巻 246
2. 論文標題 仏教界の覚醒と禅(中之上)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 禅文化	6. 最初と最後の頁 136-145
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊吹敦	4. 巻 66-1
2. 論文標題 日本天台における四宗相承の成立	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 印度学仏教学研究	6. 最初と最後の頁 70-76
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊吹敦	4. 巻 247
2. 論文標題 仏教界の覚醒と禪（中之下）	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 禅文化	6. 最初と最後の頁 104-114
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊吹敦	4. 巻 1
2. 論文標題 禅研究の意義と国際的禅研究ネットワーク構築の必要性 「武漢大学国際禅文化研究中心」と「東洋大学国際禅研究プロジェクト」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国際禅研究	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 伊吹敦	4. 巻 1
2. 論文標題 初期禅宗と「般若経」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国際禅研究	6. 最初と最後の頁 75-93
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 伊吹敦	4. 巻 5
2. 論文標題 支那内学院における日本仏教学受容の一側面 呂澂編訳『印度仏教史略』に見る原書の改変を中心に	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 東洋思想文化	6. 最初と最後の頁 58-98
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 何燕生	4. 巻 5
2. 論文標題 現代化叙事中の臨濟以及《臨濟録》 一種方法論的省察	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 漢語仏学評論	6. 最初と最後の頁 252-273
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 何燕生	4. 巻 91
2. 論文標題 現代中国における“日本仏教”の逆輸入現象について(要旨)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 宗教研究	6. 最初と最後の頁 204-210
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 齋藤智寛	4. 巻 6
2. 論文標題 禅問答の誕生と公案禅・看話禅への展開	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 東アジア仏教学術論集	6. 最初と最後の頁 171-199
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 齋藤智寛	4. 巻 1
2. 論文標題 『付法蔵伝』とその受容 大住聖窟二十四祖像を例として	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国際禅研究	6. 最初と最後の頁 150-166
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 柳幹康	4. 巻 15
2. 論文標題 『宗鏡録』に説かれる根本の鏡 喬然将来釈迦立像に納められた線刻鏡 に対する一考察	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 ザ・グレートブッダ・シンポジウム論集	6. 最初と最後の頁 69-83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柳幹康	4. 巻 3
2. 論文標題 《宗鏡録》在中国与日本受容的異同及其背景	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東亜宗教	6. 最初と最後の頁 83-94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柳幹康	4. 巻 6
2. 論文標題 夢窓疎石と『宗鏡録』	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 東アジア仏教学術論集	6. 最初と最後の頁 271-293
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 柳幹康	4. 巻 13
2. 論文標題 愚中周及『稟明抄』と『宗鏡録』	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 花園大学国際禅学研究所論叢	6. 最初と最後の頁 1-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 程正	4. 巻 48
2. 論文標題 英藏敦煌文獻から発見された禪籍について S6980以降を中心に(1)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 駒澤大学仏教学部論集	6. 最初と最後の頁 288-273
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 程正	4. 巻 76
2. 論文標題 英藏敦煌文獻から発見された禪籍について S6980以降を中心に(2)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 駒澤大学仏教学部研究紀要	6. 最初と最後の頁 0147-0164, 65-82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 館隆志	4. 巻 244
2. 論文標題 伝法衣について 遺された逸話から	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 禅文化	6. 最初と最後の頁 10-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 館隆志	4. 巻 18
2. 論文標題 宋西の入滅地について 『吾妻鏡』の宋西入滅記事を踏まえ	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 曹洞宗総合研究センター学術大会紀要	6. 最初と最後の頁 135-140
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 館隆志	4. 巻 66-1
2. 論文標題 中世禅林における菖蒲茶 宋朝禅文化の復元的考察	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 印度学仏教学研究	6. 最初と最後の頁 122-127
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 館隆志	4. 巻 6
2. 論文標題 中世禅林における端午	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 東アジア仏教学術論集	6. 最初と最後の頁 241-261
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 館隆志	4. 巻 247
2. 論文標題 文献にみる坐禅の変遷	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 禅文化	6. 最初と最後の頁 53-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 館隆志	4. 巻 1
2. 論文標題 兀庵普寧の来日をめぐって 南宋禅林における日中禅僧の交流	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国際禅研究	6. 最初と最後の頁 49-74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 館隆志	4. 巻 13
2. 論文標題 鎌倉期禅僧の喫茶史料集成ならびに訓註(中)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 花園大学国際禅学研究所論叢	6. 最初と最後の頁 21-142
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 原田香織	4. 巻 54-3
2. 論文標題 狂言にみる茶の文化	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東洋通信	6. 最初と最後の頁 15-25
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 原田香織	4. 巻 92
2. 論文標題 狂言『悪坊』における頭陀行	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 文学論藻	6. 最初と最後の頁 23-41
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 原田香織	4. 巻 55
2. 論文標題 作品研究『檜垣』 妖艶美と禅の「汲水輪」の表現性	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 東洋学研究	6. 最初と最後の頁 75-88
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 原田香織	4. 巻 1
2. 論文標題 狂言『左近三郎』における禅風問答と戒律	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国際禅研究	6. 最初と最後の頁 75-102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

[学会発表] 計63件(うち招待講演 32件/うち国際学会 33件)

1. 発表者名 伊吹敦
2. 発表標題 七世紀後半における中国北地の思想動向 『金剛三昧經』に見る初期禅宗と三階教の接合とその意味
3. 学会等名 国際シンポジウム「初期禅宗史研究の最前線」(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 伊吹敦
2. 発表標題 禅宗における「如来禅」の起源と展開
3. 学会等名 日本印度学仏教学会第70回学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 伊吹敦
2. 発表標題 『師資血脈傳』の成立と変化、並びに他の神会の著作との関係について
3. 学会等名 仏教史学会第70回学術大会(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 伊吹敦
2. 発表標題 李華撰『故左溪大師碑』に見る知識人の佛教理解
3. 学会等名 国際シンポジウム「初期禅宗史研討会」(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 伊吹敦
2. 発表標題 鈴木大拙はどうして初期禅宗史研究を始めたか
3. 学会等名 シンポジウム「鈴木大拙の思想とその史的意義」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 土屋太祐
2. 発表標題 廣道者考
3. 学会等名 中國俗文化國際學術研討會(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 土屋太祐
2. 発表標題 宋代禅宗における看話禅の形成
3. 学会等名 International Conference "Song-Dynasty Chan": Interdisciplinary Perspectives on an East Asian Buddhist Tradition (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 柳幹康
2. 発表標題 仏教の多様性と《宗鏡録》
3. 学会等名 第八屆靈隱仏教文化論壇 紀念永明延寿大師誕辰1115周年及桂舟禪師誕辰1152周年學術研討會（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 柳幹康
2. 発表標題 白隠慧鶴と菩提心の判
3. 学会等名 日本印度学仏教学会第70回学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 柳幹康
2. 発表標題 東アジアにおける『宗鏡録』 中韓日における受容と展開
3. 学会等名 東京学派研究会「東アジアの伝統仏教学と近代仏教学」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 柳幹康
2. 発表標題 永明延寿思想、実践中之浄土要素
3. 学会等名 禅学思想史：從伝統到現在（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 柳幹康
2. 発表標題 教・禪と『宗鏡録』(Doctrinal Approaches, Chan Approaches, and the Zongjing lu)
3. 学会等名 Song Dynasty Chan: Interdisciplinary Perspective on an East Asian Buddhist Tradition (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 程正
2. 発表標題 「惟心観一卷」(S212)について
3. 学会等名 国際シンポジウム「初期禅宗史研究の最前線」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 館隆志
2. 発表標題 『元亨釈書』の栄西伝について
3. 学会等名 国際禅研究プロジェクト研究会・定例研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 館隆志
2. 発表標題 達磨宗新出史料『心根決疑章』と仏地房覚晏
3. 学会等名 東アジア仏教研究会第36回定例研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 館隆志
2. 発表標題 新出史料『心根決疑章』の発見とその意義 達磨宗二祖仏地房覺晏の著述をめぐって
3. 学会等名 日本印度学仏教学会第70回学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 館隆志
2. 発表標題 日本中世禅林的重陽飲茶文化 圍繞着茱萸茶、菊花茶
3. 学会等名 第三屆徑山祖庭文化論壇 佛教中国化視域下的徑山禅研究暨紀念虚堂禅師円寂750周年学術研討会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ディディエ・ダヴァン
2. 発表標題 L'Éveil en langue originale : Le Zen japonais et les limites de l'intimités avec la langue chinoise
3. 学会等名 Hieroglossie IV Sinoglossie (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ディディエ・ダヴァン
2. 発表標題 Du Chan des Song au Zen du XXe siècle La naissance du Zen dans le monde occidental
3. 学会等名 Hieroglossie IV Sinoglossie (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 伊吹敦
2. 発表標題 禅宗在“人間佛教”理念中的位置
3. 学会等名 Chan・Zen・Seon：禅的形成及其在世界的展開（國際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 伊吹敦
2. 発表標題 井上円了の仏教理解とその影響：近代中国仏教との関連を中心に
3. 学会等名 印度学仏教学会第69回学术大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 伊吹敦
2. 発表標題 佛教は哲學なりや宗教なりや（上）：近代日本における佛教の宗教化と禅宗・真宗の一元的理解の誕生
3. 学会等名 國際禅研究プロジェクト定例研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 伊吹敦
2. 発表標題 佛教は哲學なりや宗教なりや（下）：近代中國における浄土教・禅宗評價と佛教の脱宗教化
3. 学会等名 國際禅研究プロジェクト定例研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 伊吹敦
2. 発表標題 写本の変化が意味するもの：敦煌禅宗文献「大乘五方便」の諸本を中心に
3. 学会等名 国際哲学研究センター主催ワークショップ「知の アーカイブ の成立：写本研究を通して見える思想世界」（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 何燕生
2. 発表標題 在Chan・Zen・Seon中穿行的禅宗学者：金九経
3. 学会等名 Chan・Zen・Seon：禅的形成及其在世界的展開（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 何燕生
2. 発表標題 現代中国語圏における道元の発見：聞き取り調査から
3. 学会等名 道元研究国際シンポジウム「世界の道元研究の現在」（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 何燕生
2. 発表標題 12-13世紀東亜禅与儒教：道元对三教一致説的批判
3. 学会等名 第四回東亜文献与文学中的仏教世界国際学術研討会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 何燕生
2. 発表標題 胡適歷史視闕中的臨濟義玄禅学
3. 学会等名 中国哲学史的多元書写範式學術研討会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 齋藤智寛
2. 発表標題 《統高僧伝・訳経篇》所見三教争論材料二則
3. 学会等名 第五屆仏教文献与文学国際學術研討会（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 齋藤智寛
2. 発表標題 『統高僧伝』感通篇と禅仏教：釈道英伝を読む
3. 学会等名 国際禅研究プロジェクト定例研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 柳幹康
2. 発表標題 《宗鏡録》於鎌倉時期臨濟宗之容受
3. 学会等名 Chan・Zen・Seon：禅的形成及其在世界的展開（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 柳幹康
2. 発表標題 日本禅宗における『宗鏡録』の受容
3. 学会等名 名古屋大学公開シンポジウム 「中世禅への新視角：『中世禅籍叢刊』が開く世界」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 柳幹康
2. 発表標題 白隠慧鶴と『宗鏡録』
3. 学会等名 印度学仏教学会第69回学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 葛兆光、小川隆、土屋太祐、柳幹康
2. 発表標題 中日両国の禅宗史研究之現状、問題与前瞻
3. 学会等名 復旦文史講堂（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 土屋太祐
2. 発表標題 三界唯心から看話へ：宋代禅林における法眼宗の形象
3. 学会等名 中世禅への新視角 Part 『中世禅籍叢刊』が開く世界
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 土屋太祐
2. 発表標題 血脈不断・相統也大難：宋代禪宗における公案解釈の一視点
3. 学会等名 印度学仏教学会（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松村哲文
2. 発表標題 涅槃圖像の変遷与禪
3. 学会等名 Chan・Zen・Seon：禪的形成及其在世界的展開（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 程正
2. 発表標題 早期禪宗中佛弟子の意義：圍遶祖統說的成立
3. 学会等名 Chan・Zen・Seon：禪的形成及其在世界的展開（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 程正
2. 発表標題 新出のスタイン本『菩提達摩禪師論』について
3. 学会等名 第七回 韓・中・日 国際仏教学術大会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 程正
2. 発表標題 吐魯番地方における禪籍の流傳：ドイツ藏吐魯番漢文文書中の禪籍殘片を手がかりにして
3. 学会等名 国際シンポジウム「初期禅宗研究の最前線」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 館隆志
2. 発表標題 曹洞宗における重陽の受容
3. 学会等名 曹洞宗総合研究センター第20回学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 館隆志
2. 発表標題 中世禅林における重陽の喫茶文化：茱萸茶・菊花茶をめぐって
3. 学会等名 日本印度学仏教学会第69回学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 館隆志
2. 発表標題 日本鎌倉時代禅林漢語、日語之使用
3. 学会等名 Chan・Zen・Seon：禅的形成及其在世界的展開(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 原田香織
2. 発表標題 The Japanese Medieval Thought Regarding Hakuin Zenji from the View point of Nohgaku Theatre(Noh & Kyogen, and Classical Japanese Theatre)
3. 学会等名 Chan・Zen・Seon：禪的形成及其在世界的展開（國際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 ディディエ・ダヴァン
2. 発表標題 大燈派の特徴を考えて：公案の扱いを中心に
3. 学会等名 フランスの研究者による禪研究（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 ディディエ・ダヴァン
2. 発表標題 脱鎌倉禪？：純粹禪と大燈派についての一考察
3. 学会等名 中世禪への新視角 Part 『中世禪籍叢刊』が開く世界
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 ディディエ・ダヴァン
2. 発表標題 室町時代の看話禪：体系化の芽生え？
3. 学会等名 看話禪國際學術會議：東アジア看話禪の時代的展開（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 ディディエ・ダヴァン
2. 発表標題 La pureté; comme orthodoxie : Evolution du Zen medieval et du regard porte sur lui
3. 学会等名 Pour une approche comparatiste de l' heresie en histoire des religions (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 伊吹敦
2. 発表標題 胡適の禅研究の史的意義とその限界
3. 学会等名 駒澤大学仏教学会平成29年度第1回研究発表会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 伊吹敦
2. 発表標題 最澄が「四宗」を相承したとする言説はいかにして生まれたか？
3. 学会等名 日本印度学仏教学会第68回学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 伊吹敦
2. 発表標題 初期禅宗と般若経
3. 学会等名 第七回日中仏学会議 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 柳幹康
2. 発表標題 夢窓疎石と『宗鏡録』
3. 学会等名 第6回日・韓・中 国際仏教学術大会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 柳幹康
2. 発表標題 中国・日本における『宗鏡録』受容の異同とその背景（《宗鏡録》在中国 与日本受容的異同及其背景）
3. 学会等名 径山禅宗祖庭文化論壇（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 柳幹康
2. 発表標題 愚中周及『稟明抄』と『宗鏡録』
3. 学会等名 国際シンポジウム「東アジアにおける禅思想の諸相」（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 土屋太祐
2. 発表標題 玄沙師備の仏性観
3. 学会等名 第三回世界華嚴学大会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 程正
2. 発表標題 英威敦煌文献から発見された禅籍について S6980以降を中心に
3. 学会等名 駒澤大学仏教学会平成29年度第1回研究発表会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 程正
2. 発表標題 ドイツ蔵吐魯番漢文書から発見された禅籍について
3. 学会等名 第88回禅学研究会学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 館隆志
2. 発表標題 中世禅林における端午
3. 学会等名 第6回 日・韓・中 国際仏教学術大会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 館隆志
2. 発表標題 中世禅林における菖蒲茶 宋朝禅文化の復元的考察
3. 学会等名 日本印度学仏教学会第68回学術大会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 館隆志
2. 発表標題 兀庵普寧的赴日与中日禅僧之間的交流
3. 学会等名 径山禅宗祖庭文化論壇（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 原田香織
2. 発表標題 Hanjo : une piece de theatre de Yukio Mishima Structure de l'adaptation (「三島由紀夫の戯曲『班女』論 翻案の構造」)
3. 学会等名 ストラスブール大学・国際演劇視覚芸術学会「身体とメッセージ/ 翻訳と翻案の構造」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 ディディエ・ダヴァン
2. 発表標題 一休の見た大燈派 三転語を手掛かりに
3. 学会等名 一休シンポジウム 「一休と禅のこころ」(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 ディディエ・ダヴァン
2. 発表標題 L' intrigante victoire du Zen : L' elaboration de la controverse de l' ere Shochu et l' identite doctrinale de la branche de Daito
3. 学会等名 Rongi - Les disputations bouddhiques au Japon (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計17件

1. 著者名 齋藤智寛・衣川賢次	4. 発行年 2019年
2. 出版社 大藏出版	5. 総ページ数 464
3. 書名 新国訳大蔵経中国撰述部一-七 禅宗部 六祖壇経・臨済録	

1. 著者名 彭丹・館隆志	4. 発行年 2020年
2. 出版社 禅文化研究所	5. 総ページ数 520
3. 書名 蘭溪録	

1. 著者名 ディディエ・ダヴァン	4. 発行年 2020年
2. 出版社 平凡社	5. 総ページ数 104
3. 書名 『無門関』の出世双六 帰化した禅の聖典	

1. 著者名 渡辺章悟、高橋尚夫、吉村誠、橘川智昭、大竹晋、大久保良峻、伊吹敦、程正、奥野光賢、堀内規之	4. 発行年 2018年
2. 出版社 起心書房	5. 総ページ数 472
3. 書名 般若心経註釈集成 中国・日本編	

1. 著者名 劉沢亮、陳文慶、柳幹康	4. 発行年 2018年
2. 出版社 宗教文化出版社	5. 総ページ数 361
3. 書名 一心万法：延寿学研究	

1. 著者名 細川晋輔、小倉宗俊、細川晋輔、松竹寛山、永江朗、谷端昭夫、本多道隆、柳幹康、廣田宗玄、志水一行、小川太龍、瀧瀬尚純、横田南嶺、並木優記、安永祖堂、平井正修、細川景一、玄侑宗久、高井正俊、芳澤勝弘	4. 発行年 2019年
2. 出版社 淡交社	5. 総ページ数 128
3. 書名 禅入門：禅僧から学ぶところ・修行・歴史	

1. 著者名 土屋太祐、柳幹康	4. 発行年 2019年
2. 出版社 大蔵出版	5. 総ページ数 304
3. 書名 新国訳大蔵経（中国撰述部）1-6 禅宗部 法眼録・無門関	

1. 著者名 伊吹敦	4. 発行年 2017年
2. 出版社 禅文化研究所	5. 総ページ数 932(89-110)
3. 書名 『臨濟録』研究の現在	

1. 著者名 何燕生	4. 発行年 2017年
2. 出版社 宗教文化出版社(北京)	5. 総ページ数 669
3. 書名 《正法眼藏》訳注(新装版)	

1. 著者名 何燕生	4. 発行年 2017年
2. 出版社 禅文化研究所	5. 総ページ数 932(549-581)
3. 書名 『臨済録』研究の現在	

1. 著者名 齋藤智寛	4. 発行年 2017年
2. 出版社 禅文化研究所	5. 総ページ数 932(289-312)
3. 書名 『臨済録』研究の現在	

1. 著者名 柳幹康	4. 発行年 2017年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 208(63-100)
3. 書名 三国伝来 仏の教えを味わう インド・中国・日本の仏教と「食」	

1. 著者名 館隆志	4. 発行年 2017年
2. 出版社 禅文化研究所	5. 総ページ数 932(451-469)
3. 書名 『臨済録』研究の現在	

1. 著者名 土屋太祐	4. 発行年 2017年
2. 出版社 禅文化研究所	5. 総ページ数 932(329-359)
3. 書名 『臨済録』研究の現在	

1. 著者名 土屋太祐	4. 発行年 2018年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 792(627-631, 755-758)
3. 書名 中世禅籍叢刊(12)稀覯禅籍集続	

1. 著者名 原田香織	4. 発行年 2018年
2. 出版社 新典社	5. 総ページ数 160
3. 書名 戦国武将と能楽 信長・秀吉・家康	

1. 著者名 ディディエ・ダヴァン	4. 発行年 2017年
2. 出版社 禅文化研究所	5. 総ページ数 932(471-494)
3. 書名 『臨済録』研究の現在	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>国際禅研究プロジェクト http://www2.toyo.ac.jp/~ibuki/kokuzenken/index.html 国際禅研究プロジェクト http://www2.toyo.ac.jp/~ibuki/kokuzenken/access.html 国際禅研究プロジェクト http://www2.toyo.ac.jp/~ibuki/kokuzenken/info.html 東洋大学学術情報リポジトリ：『国際禅研究』 https://toyo.repo.nii.ac.jp/index.php?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_snippet&index_id=1237&pn=1&count=20&order=17&lang=japanese&page_id=13&block_id=17</p>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	何 燕生 (HE Yansheng) (00292186)	郡山女子大学短期大学部・その他部局等・教授 (41605)	
研究分担者	齋藤 智寛 (SAITO Tomohiro) (10400201)	東北大学・文学研究科・教授 (11301)	
研究分担者	柳 幹康 (YANAGI Mikiyasu) (10779284)	東京大学・東洋文化研究所・准教授 (12601)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	土屋 太祐 (TSUCHIYA Taisuke) (20503866)	新潟大学・人文社会科学系・准教授 (13101)	
研究分担者	村松 哲文 (MURAMATSU Tetsufumi) (30339725)	駒澤大学・仏教学部・教授 (32617)	
研究分担者	程 正 (CHENG Zheng) (60433752)	駒澤大学・仏教学部・教授 (32617)	
研究分担者	館 隆志 (TACHI Ryushi) (70771509)	駒澤大学・仏教学部・講師 (32617)	
研究分担者	原田 香織 (HARADA Kaori) (90227017)	東洋大学・文学部・教授 (32663)	
研究分担者	ダヴァン ディディエ (DAVIN Didier) (90783291)	国文学研究資料館・研究部・准教授 (62608)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計8件

国際研究集会 初期禅宗史研究の現在	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 初期禅宗研討会	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 Chan・Zen・Seon：禅的形成及其在世界的展開	開催年 2018年～2018年

国際研究集会 世界の道元研究の現在	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 初期禅宗研究の最前線	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 フランスの研究者による禅研究	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 第6回 日・韓・中 国際仏教学術大会	開催年 2017年～2017年
国際研究集会 国際シンポジウム「東アジアにおける禅思想の諸相」	開催年 2017年～2017年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
中国	武漢大学国際禅文化研究センター			
韓国	金剛大学校仏教文化研究所			
中国	中国人民大学仏教与宗教学理論研究所			